

平成28年度  
専門学校盛岡カレッジオブビジネス  
自己点検結果報告書

平成28年度自己点検・評価結果報告について

ここに学校法人龍澤学館専門学校盛岡カレッジオブビジネスの自己点検・評価結果を公表  
致します。

学校法人 龍澤学館  
理事長 龍澤 正美

### 1. 学校の教育目標

『地域・社会の発展に貢献できる人材の育成』

学校生活を通して「人間的成長」を目指す。

### 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

社会人基礎力として「基礎学力の向上」と「社会人基礎力の向上」、専門能力発揮に向けて「専門能力の習得と実践的活動」、地域の一員としての自覚を備えるために「地域連携と地域貢献」を基盤とした教育を進めていく。

### 3. 評価項目の達成及び取組み状況

※適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

#### (1) 教育理念・目標

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	学校の理念・目的・人材育成像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4
2	学校における職業教育の特色は何か	4
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3
5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4
課題	教育理念・育成人材像等、学生・保護者に提示をしているが、入学当初の周知のみであり、継続的ではないため対策が必要である。	
改善策	入学後や期の途中での学生アンケートによって学生の認知を確認し、今後は継続的な教育理念及び育成人材像等の周知徹底の手法や取組みを検討し、実施していくこととする。	

#### (2) 学校運営

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
4	人事、給与に関する規定等は整備されているか	4

5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4
課題	組織体制は整備されており、教育活動の情報公開に関してのコンプライアンス遵守に力を入れているが、再確認が必要。規則等が明確化されていないところもあるため見直しが必要である。総合的な公開ができるように推進する。	
改善策	教育活動の情報公開については、体系化を強化し広報媒体を活用して情報公開できるよう検討を進める。	

### (3) 教育活動

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
2	教育理念、育成人材像や業界ニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
6	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4
13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4

14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	4
課題	高い資格取得実績を目指し、目標に掲げる人材育成を行う指導体制として、人員的不足が課題として挙げられる。	
改善策	効果的な指導体制に関して検証を行い、連携活動における協力者の方々や、教育編成委員会や学校教育評価委員会等の外部委員の方々の助言等もいただきながら、人員確保に関して検討を進める。	

#### (4) 学修成果

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	就職率の向上が図られているか	4
2	資格取得率の向上が図られているか	3
3	退学率の低減が図られているか	4
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3
課題	卒業生の活躍把握に向けホームページで卒業生紹介を設けるようにし整備したが、体系化が十分でないため、キャリア形成の状況把握が部分的である。	
改善策	卒業生の全体的把握に向け、内定先企業訪問や調査はがきを郵送するなどして状況把握の仕組みを整備していくように進める。	

#### (5) 学生支援

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
2	学生相談に関する体制は整備されているか	4
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
6	学生の生活環境への支援は行われているか	3
7	保護者と適切に連携しているか	4
8	卒業生への支援体制はあるか	3
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

課題	卒業生への支援体制が体系化されていないため、アプローチのあった卒業生だけへの支援になっている。
改善策	卒業生の状況把握と併せて、卒業後の内定先企業訪問を取り入れるなどして卒業生を支援していける仕組みづくりを行うよう検討していく。

(6) 教育環境

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
3	防災に対する体制は整備されているか	3
課題	教育上必要な設備は整えられているが、施設内で汚れや破損等整備されていない箇所もあるため環境を整える必要がある。	
改善策	校舎内の整備については、環境を整えるよう法人本部と連携を図りながら進めていく。	

(7) 学生の受入れ募集

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	学生募集活動は、適正に行われているか	4
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
3	学納金は妥当なものとなっているか	4
課題	学納金は妥当なものとなっているが、定期的な検証が必要か検討する。	
改善策	学納金について検証できるよう、法人本部と連携を図りながら検討していく。	

(8) 財務

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4

4	財務情報公開の体制整備はできているか	4
課題	法人本部で財務について適正に管理しており、財務情報についてはホームページで公開している。	
改善策	法人本部と今後も連携を図っていく。	

(9) 法令等の遵守

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
4	自己評価結果を公開しているか	4
課題	個人情報の保護は徹底されているものの、管理規定に不明確な部分もあるため、保護対策を検討する必要がある。	
改善策	個人情報保護対策と自己評価に対しての改善策を徹底していくための体制を整える	

(10) 社会貢献・地域貢献

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3
課題	地域活動を通じた社会貢献は積極的に行っているが、講座については高校生中心になっており、公開講座の積極性に欠ける。	
改善策	ボランティア活動等を通して、学科の特色を活かした講座を設けていけるよう地域と連携して検討を進めていく。	

(11) 国際交流

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	3
2	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	3

3	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	3
4	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	3
課題	留学生受け入れと共に、グローバル化に伴う語学の強化に取り組む必要がある。	
改善策	今年度から具体的なカリキュラムの見直しと海外インターンシップなど語学留学も併せて見直しを行っている。	

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

重点目標として掲げた「基礎学力の向上」、「社会人基礎力の向上」、「専門能力の習得と実践的活動」、「地域連携と地域貢献」を基盤とし、教育活動の成果を確認することができている。

しかし、「教育理念・目標」の認知に関する取組みや、人材育成のための指導体制の構築、卒業生に関する状況把握及び働きかけ、国際交流に関する事項等については、課題があり、それぞれの改善策を講じていく必要がある。

平成28年度  
専門学校盛岡カレッジオブビジネス  
学校関係者評価委員会結果報告書

平成29年2月

学校法人龍澤学館  
理事長 龍澤 正美

### 平成28年度学校関係者評価 報告

学校法人龍澤学館 専門学校盛岡カレッジオブビジネスでは、本校規定に基づき、学校関係者評価委員会を実施致しました。以下に、その内容を報告致します。

今後は、各委員からの意見や指導等を真摯に受け止め、より良い教育、より良い学校運営を目指し、教職員一同努力して参ります。

引き続き、一層のご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

#### 1. 学校関係者評価委員

氏名	企業・団体名	部署・役職
石塚 和宏	株式会社岩手ホテルアンドリゾート	取締役営業統括
高橋 義則	株式会社北日本銀行	取締役人事部長
佐々木 友恵	専門学校盛岡カレッジオブビジネス 卒業生	
関 めぐみ	専門学校盛岡カレッジオブビジネス 卒業生	
廣田 聖亜	専門学校盛岡カレッジオブビジネス 卒業生	
阿部 瞬	専門学校盛岡カレッジオブビジネス 卒業生	
藤原 愛美	専門学校盛岡カレッジオブビジネス 卒業生	
工藤 昌雄	専門学校盛岡カレッジオブビジネス	校長
松島 理香子	専門学校盛岡カレッジオブビジネス	校長代理
畠山 英之	専門学校盛岡カレッジオブビジネス	事務局主任
高田 昭子	専門学校盛岡カレッジオブビジネス	教務主任
工藤 恭人	専門学校盛岡カレッジオブビジネス	

## 2. 委員会次第

- (1) 開会
- (2) 校長挨拶
- (3) 委員紹介
- (4) 平成28年度学校関係者評価結果について
- (5) 意見交換
- (6) その他

## 3. 議論内容

本校の教育理念・目標と平成28年度に定めた重点目標と計画について説明を行った後、「専修学校における学校評価ガイドライン」を踏まえて作成した評価項目による自己点検・評価の結果に基づき、評価項目ごとに達成状況や取組み状況、改善策について順次、外部委員の皆様と議論を行った。

### ①教育理念・目標

学校の教育理念・目的・人材育成像については、職業教育の特色や社会経済のニーズを考慮した内容で教育活動にあたっていることに高い評価をいただいた。ただし、継続的な周知徹底に関して不十分である可能性もあるため、学生アンケートの実施を通して認知度の確認や検証を行い、周知徹底の手法や取組みを検討していくことにした。

### ②学校運営

事業計画を策定し、組織体制やコンプライアンス順守等に関して、適正に運営にされているため、今後も継続していくことで確認した。教育活動の情報公開については部分的であることから、情報公開の方法も含めて総合的に公開できるように準備を進めていくことで確認した。

### ③教育活動

教育理念に沿ったカリキュラム、また実践的な職業教育が体系化されていることについては、関連分野の企業の声を反映しながら活動されているという意見もあり、今後も継続していくことで確認した。一方、目標に掲げる人材育成を行う指導体制として、人力的不足が課題であるため、効果的な指導体制に関して検証を行い、連携活動における協力者の方々や、教育編成委員会や学校教育評価委員会等の外部委員の方々の助言等もいただきながら、人員確保に関して検討を進めることにした。

#### ④学修成果

就職率の向上については、今年度も高い評価をいただいた。しかし、卒業生の状況や活躍評価については不十分であるため、今後内定先企業訪問や調査はがきを郵送するなどして状況把握の仕組みを整備していくように進めることを説明した。外部委員の方々からは、「卒業生の状況把握の徹底や調査対象期間には限界があるかもしれないが、重要な取り組みである」ことや、「若者の地域離れが深刻な社会状況下で、卒業生の今後の活躍につなげるため、調査活動を進めてほしい」との意見が挙がった。

#### ⑤学生支援

概ねの項目において、環境を整備し、再編を重ねている支援体制については高い評価をいただいた。しかし、「卒業生への支援体制」に関して、『④学生支援』の課題と同様、不十分であるため、今後の対策について、重ねて説明を行った。

#### ⑥教育環境

施設・設備に関しては、教育上必要なものは整備されているが、防災に対する体制が不十分であり、体制を整え、防災訓練や緊急対応方法の周知等、教職員と学生とで検討と実施を行うこととした。

#### ⑦学生の受け入れ募集

学生募集活動は適正に行われ、教育成果を様々な手法で情報発信していることを確認した。学納金については、今後も定期的な検証を行い取り決めていくことを説明した。

#### ⑧財務

法人本部で財務に関して適正に管理しており、ホームページで財務情報を公開していることを説明した。

#### ⑨法令等の順守

社会背景を考慮した、個人情報や各種管理規定等、正しい法令を順守する取り組みが行われていることを確認した。また、自己評価委員会を実施し、問題の改善にも努めていることの再認識をしていただいた。

#### ⑩社会貢献・地域貢献

社会貢献・地域貢献及び各種ボランティア活動には積極的に参加し、地域貢献意識の醸成につなげている。しかし、地域に対する公開講座や教育訓練等への積極性に欠けることから、学科の特色を活かした各種講座の設定や進め方を今後検討していくこととした。

#### ⑩国際交流

留学生派遣については語学学習や短期留学実施等、積極的な取組みを進めてきたことを説明した。しかし、多くの留学生の受入れを想定し、募集活動を進めることとしているが、受入れや募集についての明確な戦略、管理体制、指導体制等には課題が多く、今後の検討項目として、様々な組織の構築等を検討しながら対策を講じることとした。

#### 4. まとめ

自己点検の評価項目について、状況報告及び改善策の説明を行い、外部委員の方々からは概ね高い評価をいただくことができた。しかし、『①教育理念・目標』『③教育活動』『④学修成果』『⑤学生支援』『⑥教育環境』『⑩社会貢献・地域貢献』『⑩国際交流』等の項目において、課題として挙げられ、助言をいただいた内容については、検証と具体的対策を講じ、計画的に改善できるよう、努めていくこととする。

そして、「地域・社会やサービス業界で寄与できる人材の育成」を教育目標として、より充実した教育活動と高い学修成果を目指し、教育環境の整備に取り組んでいきたい。